

〔生徒の皆様へ〕

- ジェンダーに関するためになるお話をありがとうございました。たくさんの学びがありましたが、相手を性別ではなく一人の人間として相手を見るということ言葉が印象に残りました。これからの考え方が変わるきっかけになる発表でした。
- 男女間の賃金の格差を原因から結果まで細かく説明されていてとても分かりやすかった。日本のジェンダーギャップ指数のランキングが世界的に見てとても低いということがわかっているので、ジェンダーギャップ指数のランキング上位にいるアイスランドなどのやり方と日本のやり方を比べて、日本は性別の平等のためにどうしていくべきか考えていけば発表がより良くなると思いました。
- 日本のジェンダーに関する問題について、詳しく調べられていてとても良い発表でした。女性と男性の待遇では様々な違いがあり、解決すべき問題が多いこともわかりました。男性の方が稼げるという過去の歴史にとらわれずに男女がお互いに人権を尊重し一人一人が持っている個性や能力を發揮できるような社会が実現されればいいなと思いました。
- 近年ジェンダー問題はとても深刻なため、発表を通してたくさんのことを学ぶことができ、とても貴重な時間でした。日本が先進国の中でも、ジェンダー問題において遅れをとっていると知って驚きました。多くの大人の固定的な概念を変えることはとても難しいと思いますが、私たちが積極的に主張することで、良い方向に解決することができるのではないかと思います。
- 素晴らしい発表をありがとうございました。日本のジェンダーギャップ指数が低いといった現実を踏まえ、どうして日本は性別による差別がなくなるのかといった疑問を抱き、追求を展開していて、主体的な学びができていて良いと思いました。この主体的で深い学びが課題の解決に結び付くと感じました。そして、様々な観点から調べて分かったことを基に、自分自身でさらに追求し、解決策を明らかにして、持続可能な社会を生き抜くために大切にしたい姿勢であると思いました。自分自身の探究の中で、社会の人々の声や活動も取り入れつつ学びを深めていて、根拠が明確で、素晴らしい探求であると思いました。最後に提言をして、学びから得たことをまとめていましたが、それらの意識や活動を日常生活で実践できると良いですね。これからも、全ての人々が幸せな生活を送ることができる社会の実現に向けて、探究を深めてください。頑張ってください。
- ジェンダーの根本的な部分の話から、雇用機会や賃金などの社会的な部分の話までしていて、とても多くの内容が含まれていてよかったと感じました。先進国の中でも日本のジェンダーに関する理解が遅れているという点には驚かされました。
- 男女の偏見や差別、格差をさまざまな方向から調べていて、今の日本のジェンダー問題の現状がよく理解できた。そして、国際的な視点でもジェンダー問題について深く調べられていてその問題をどう解決していくかもよく理解できた。
- 制服や水着が男女の違いなど、自分たちの身近なところからジェンダー問題について考えている事が素敵だなと思いました。ジェンダー問題として、制服にスラックスや男女共通のボタンかけを取り入れるのではなく、組み合わせが自由であるという意識で取り入れることでカミングアウトの心配が少なくなるというところまで配慮できるというのが素晴らしい考え方だなと思いました。ジェンダーレスが取り上

げられることなくなり、制服は選べるのが当たり前のような社会になれば素敵だなと思います。他に身近なところでどんなジェンダーレス化が進んでいるのか気になりました。

- ジェンダーバイアスという言葉は初めて聞き勉強になりました。日本はあまり性別による差別の改善がないということに驚きました。賃金や仕事の役職の改善だけでなく、家事をするのは女性のみという日本に古くからある風習も時代の変化に応じて意識の改善が大切だなと思いました。お互いの価値観を尊重する、性別ではなく1人の人として見るということはとても大切な考えですね！
- 男女関係なく一人一人の個性を尊重する姿勢が素晴らしいと感じました。今後実際に実施していくことで新たな発見、課題が生まれてくることが予想されるため、それらについても今後考えていく姿勢を持ち続けてほしいと感じました。
- 日本が先進国の中で最もジェンダー格差がある国であることに気が付き、具体的なジェンダーに関する社会問題に切り込んでいましたね。LASHのようにデモをおこすことはハードルが高いですが、提言には今からでもできるような内容が含まれていました。私は差別や偏見なく生きているつもりですが、街中でスカートをはいた男性を見たら二度見してしまったり、見た目の性別で「くん」や「ちゃん」をつけてしまったりします。どこかで偏見を持っている証拠なのかなと思います。具体的にどのような取り組みをしたら差別や偏見はなくなるのか、いっそのこと差別や偏見があることは許容して、そんな自分とどう向き合えばいいのかと考えたほうがいいのか、さらに検討していくことができるかなと思いました。
- 性別の不平等について、発表を聞いて子供たち自身が向き合うことの重要性を感じました。近年問題になっている内容ではあるので、そこについて考え、これからの社会を担ってほしいと感じました。固定概念をどんどん壊していくような皆さんの姿がすごく楽しみです！

〔教職員の皆様へ〕

- 性の不平等に対して、日本の法律や制度などから考えられる部分と、根本の日本人としての意識の部分、両者が絡み合っている現状をよく調べられていると感じました。海外の事象から解決策を探ろうとしている部分もあり、より核心に迫った学習をしていると感じました。